

「新年への励ましの御言葉」

2017・1・1

- I 今年、ある事で恐れに支配され、力強い神を見失いそうになる時、神の前に静まり、この御言葉を何度も読み、味わおう。神は語って下さる→「わたしは、あなたを地の果てから連れ出し、地のはるかな所からあなたを呼び出して言った。『あなたは、わたしのしもべ。わたしはあなたを選んで、捨てなかった。恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。わたしはあなたを強め、あなたを助け、わたしの義の右の手で、あなたを守る』イザヤ41：9，10
- II 今年、神の変わらない真実な愛を見失い、自分なんか、いてもいなくてもいいと失望する時→「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している」イザヤ43：4。
主は語り掛けて下さる。
- III 今年、必要の満たしが必要な時→「きょうあっても、あすは炉に投げ込まれる野の草さえ、神はこれほどに装ってくださるのだから、ましてあなたがたに、よくして下さらないことがありましようか。信仰の薄い人たち。…あなたがたの天の父は、それがみなあなたがたに必要なことを知っておられます。だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい（神を第一とし御聖霊に頼って神に従いなさい）。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。だから、あすのための心配は無用です。あすのことはあすが心配します。労苦はその日その日に、十分あります」マタイ6：30-34。
明日以降のすべてを支配しておられる神が私達を守られる。
- IV 今年、試練に会う時→「あなたがたの会った試練はみな人の知らないものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを、耐えられないほどの試練に合わせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えてくださいます」Iコリント10：13。
神はすべてを見、知り、支配しておられる。
- V 心の平安がなくなる時→「何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなた方の願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます」ピリピ4：6，7。
- VI 悪魔の誘惑と自分の心に残っている罪の性質が、不義、罪、悪を繰り返させ、悪習や一時的な罪の楽しみ、欲望の奴隷にさせようとする時→
「主はご自分に属する者を知っておられる。」
また、
「主の御名を呼ぶ者は、だれでも不義（神の喜ばれない罪、悪、自分の心を蝕む罪）を離れよ。大きな家には、金や銀の器だけでなく、木や土の器もあります。また、ある物は尊いことに、

ある物は卑しいことに用います。ですから、だれでも自分自身をきよめて、これらのことを離れるなら、その人は尊いことに使われる器となります。

すなわち、聖められたもの、主人にとって有益なもの、あらゆる良いわざに間に合うものとなるのです。それで、あなたは、若い時の情欲を避け、きよい心で主を呼び求める人たちとともに、義（神との正しい関係）と信仰（神への信頼）と愛（神からいただく愛。その愛で神と人を愛する）と平和（十字架の恵みによる神との和解・自己受容・人の罪を赦す平和）を追い求めなさい」Ⅱテモテ2：19-21。

Ⅶ 今年不平不満、文句が多く成る時→「感謝の心を持つ人になりなさい」コロサイ3：16。

「わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな」

詩篇103：2。

「衣食があれば、それで満足すべきです」Ⅰテモテ6：8。

「いま持っているもので満足しなさい。主ご自身がこう言われるのです。「わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない」ヘブル13：5。

Ⅷ 今年、大切な神の導き、御心を求める時→「この世と調子を合わせてはいけません。むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心（原語：思い、考え方）の一新によって自分を変えなさい（原語：自分が、変えられ続けなさい）」ローマ12：2。

「賢くない人（イエス様を土台にしない人）のようにではなく、賢い人（イエス様を土台に置く人）のように歩んでいるか、よくよく注意し、（神が与えられる）機会を十分に生かして用いなさい。悪い時代だからです。ですから、愚か（自分勝手）にならないで、主のみこころは何であるかを、よく悟りなさい。また、酒に酔ってはいけません。そこには放蕩があるからです。むしろ、御霊（御言葉を深く教え、御心を心に教える方）に満たされなさい」エペソ5：15-16。

「あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる」箴言3：6。

「雀の一羽でも、あなたがたの父のお許しなしには地に落ちることはありません」マタイ10：29